

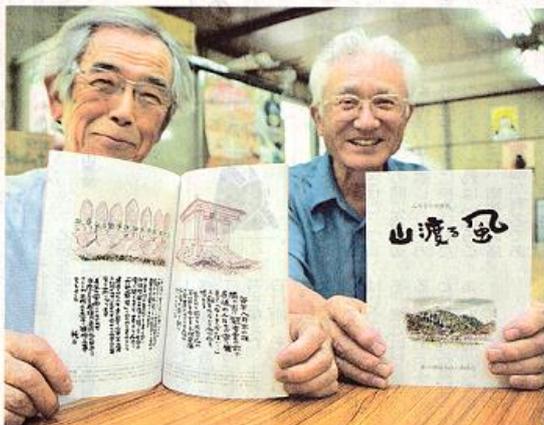
やまびこ

第35号 平成31年9月
編集・発行 掛川地域力向上委員会
Tel・Fax 0561-48-6165
E-mail:kakegawatiikiryoku140510@gctv.ne.jp

味わい深い絵 思い込めた文 こだわり文体

瀬戸市の掛川地域力向上委員会は6月、地元の風景や歴史を絵と文章でまとめた冊子「ふるさと再発見 山渡る風」を発行し

た。同委員会の富田彪会長(76)＝下半田川町＝は「住民に地域のことを知ってもらおうきっかけにしたい」と話す。(吉本章紀)



冊子作りに携わった富田さんと水野さん＝瀬戸市の掛川公民館で

同委員会は四年前、絵あしらの「バトカン」と呼ばれる地域の由緒のマップを制作。富田さんは「普段使っている地名の由来な『青蘆郷地』の漢字表記やその指し示す意味を知らない人が増えて人が少なくなってきた」と感じ、たとえ当時を振り返る。富田さんによると、子どものころに通学で通った下半田川町の町の水野登光さんが担当。水野さんの絵は、住民に親しんで

故郷の魅力冊子に

なごや東版



納沙布岬
加藤万里子

日本水彩画会
ニュース、情報ほ下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

瀬戸支局 〒489-0809
瀬戸市共栄通4-8
0561-82-3121 Fax 82-5316
日進通信部 〒470-0113
日進市栄2-214
0561-74-2002 Fax 74-2003
春日井支局
0568-81-2036 Fax 81-2797
犬山通信局
0568-61-2612 Fax 61-2613
小牧通信局
0568-72-1177 Fax 72-6530

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

供養のかけこみ寺
大法寺
樹木葬・永代供養葬
何でもご相談ください
0567-28-7319
愛西市稲葉町江崎10番地
樹木葬 大法寺 敬業

瀬戸の掛川地域力向上委が発行

野さんは絵にした五十六カ所すべてに足を運び一年かけて描いた。富田さんは、出来上がった絵の使い道がマップだけではもったいないと考え、絵はがきや年賀状で活用。その一環で、冊子制作を思い立ったという。絵にまつわる隨筆や短歌、詩などを新たに住民から募集。四十二人から応募があり、足りない部分は編集メンバーが執筆した。集まった随筆などは定光寺町の石彫家川井信一さん(86)が文字にしたためた。川井さんは香檳の年齢に応じて文体を使い分け、寄稿の原文にある間違いを修正しつつも、随筆もそのまま記載するなど、随所で工夫を凝らした。また、製本経験がある川井さんは装丁やレイアウトにもこだわり、本の表と裏の表紙裏に当たる「見返し」には、朝日と夕日をイメージしたオレンジ色の紙を使用した。富田さんは「冊子作りはマップ作りからの一連の作業だったが、関わった時間は本当に楽しませてもらった。やってみようと思った。水野さんも「絵が少しでも役に立ってよかった。定光寺町と下半田川町の住民の皆さんとともに、この地域がいよいよ方向に進んでいけば」と願う。

千部発行。地区内の全戸や関係者に配布し、市図書館にも寄贈。残部わずか。◎掛川地域力向上委員会 0561-486165

絵本 『山渡る風』に

反響続々

自然の魅力をまとめた冊子『山渡る風』の発行から二か月余り。七月二十三日付中日新聞に掲載されました！

県内外からも感想が届いています！

たくさんのお便りをいただきました。その一部をご紹介します。その他、また、後日に。



ページごとにキャプションがあるのがよかったです。この土地で生まれ育っていない者にとっては、これがないとピンとこないものもあるので大変分かりやすく、地域への愛着もわいてきます。(下半田川町)

山渡る風のイラスト、文章、文字は温かく心にしみみます。皆さんの地域愛を感じました。この地域のことをさらに知ることができ、こんなにいいところに住んでいるんだと地域への愛着がわきました。(定光寺町)



自分の住んでいる地域を改めて知るいい機会となりました。今まで子供を連れて何気なく歩いていた道を別の視点で見ることができるようになりました。何度も読んで子供に話をしながら散歩をするのを目標にしたいなあと思います。(下半田川町)



「山渡る風」は、詩歌あり、エッセイありで思い思いの文を楽しく読ませていただきました。金光さんの素晴らしい絵と川井さんの独特の筆跡が主役の役割を果たし、下段にはキャプションも付され大変上手に編集されましたね。きっと皆様のご家庭の思い出の本の1冊となるでしょう。(瀬戸市三沢町)

「ふるさと再発見 山渡る風」。タイトルいいですね。お友達にも見てもらって、お店で常設させていただきます。(豊田市)



地域の要所…要所というより皆が好きな場所という感じでしょうか。水神様、学校跡地、お稲荷さん…。すごくシンプルだからこそ、掛川に行ったことはない僕も、懐かしいような気持ちになります。日本人の心の遺伝子には、同じ風景が刻まれているのでしょうかね。この本は、育ててくれた地域に感謝する気持ちが溢れていて、1ページ、1ページ…、すべてに愛に満ちた爽快な印象でした。(大阪市)

私の周囲の人も回し読みしてもらい、感動を共有したいと思います。これを2年がかりで制作された皆様に敬意を表します。(鎌倉市)



日本の原風景というのでしょうか。多くの自然・文化遺産の残る地域に居を構えていらっしゃるのですね。羨ましい限りです。この頃、旅をしてつくづく日本という国の良さを改めて感じる事多々です。そんな素晴らしさが失われていく様子に悲しさも感じる今日この頃です。(逗子市)

たくさんのメッセージありがとうございました。

もみじ
掛川紅葉図鑑

撮影 富田幹夫



ハナノキ (下半田川町)



コシアブラ



カラコギカエデ (蛇ヶ洞川)



ヤマハゼ



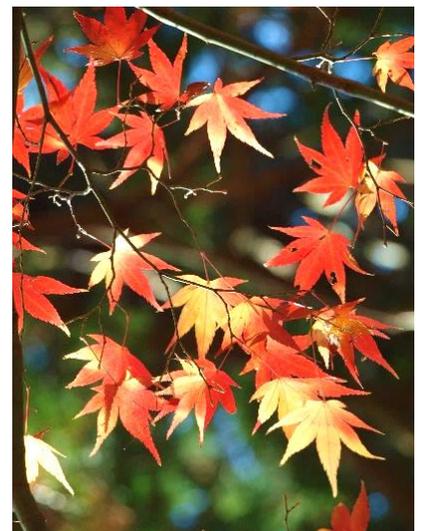
バイカツツジ



イロハモミジ (定光寺町松本家)



シロモジ



イロハモミジ (八剱社)



オオモミジとイチョウ (定光寺)



ヌルデの紅葉とアカメガシワの黄葉 (日向川)



かけがわっ子ひろば☆夏の思い出☆



令和最初の夏休みは大変な暑さが続きましたね。
そんな中でも子どもたちは元気いっぱい！
楽しいイベントもたくさんありました。
ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



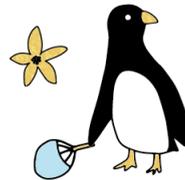
夏の風物詩、流し
そうめん。今年も地
域の方が竹を切り
出し、大鍋でそうめ
んを茹でしてくださ
いました。



公民館主催のクッキング。
♡や☆のクッキーをホット
プレートで上手に焼けまし
た。「令和」のクッキーも！



久しぶりのバレエレッスン。
みんな背筋をピンと伸ばして
気持ちがいいですね。



夏休みの間にたくさんの作品を作って過ごせ
ました。お裁縫では自分の好きな材料で小物づ
くり、カプラでは自分の背の倍の高さのタワー、
ラキューで〇〇作り(笑)…。毎回壊すのがためら
われます。



下半田川町民会館で盆踊りの練習



休憩の綿菓子



蛇ヶ洞川で川遊び。昨年に比べて水量が多く、泳ぐことができました。



読書感想文講座。書き方のヒントをたくさんもらって筆がサクサク進む進む！宿題もバッチリ！



定光寺町の高村さんご夫妻から手話を教えてもらいました。自分の名前や、学校周辺にある物の名前をたくさん覚えました。



工作教室ではペン立てと小物入れ、お花型のプローチを作りました。公民館まつりで販売します。



次号、夏休み後半編へ続きます。お楽しみに！

会員の声

掛川と言えば…。

定光寺町 川本 加歩子

川本さんの2人のお子さんは掛川小学校に通っています。忙しく働きながら、学校行事やかけがわっ子ひろばの運営などに積極的に関わってくれています。

十数年前、初めて掛川に来たときに、一番印象に残ったのは、駅からの長い坂道でした。実は、定光寺駅から家まで歩いたのは、その時の一度きりで、登り切った後軽い腰痛になったのでそれきりになっています。(苦笑)

主人はこの坂道を学生時代、毎日歩いていたおかげで背筋が並外れて強いそうで、その理由にはすごく納得したことを思い出しました。

自然に囲まれた緑豊かなところですが、草刈機を扱えるようになったのも、その恩恵でしょうか。当初はエンジンをかけるだけで疲れてしまって、その日は断念したこともありました。今では懐かしいかぎりです。

出会えた動物たちも様々です。イノシシはもちろん、キツネ、イタチ、タヌキ、サル、アライグマ、モグラ、etc。モグラは竹筒の罠にかかったのを初めてみましたが、本当に目が小さく、思った以上に爪が鋭くて衝撃的でした。

子ども達が小学校に行くようになって、行事の多さには驚きました。学習田でのドロリンピックに、お茶会、収穫祭、和太鼓の演奏会。どれをとっても特色あるものばかりです。地域の方と一緒にいるスポーツフェスタもこの

地域ならではの。子ども達だけではなく、老若男女問わず参加でき、タープの中でゆったりと応援できるのも醍醐味です。

放課後学級であるかけがわっ子ひろばの役員をさせていただくようになって4年目になり、保護者運営で様々な企画等を行ったり、予算を立てたりすることも今まで経験したことのないことです。瀬戸市の中でも唯一の運営形態と伺い、地域力のなせる業なのだと思います。関わらせていただくようになって、子ども達がどれだけ恵まれた環境にいるか身を持って知ることができました。

これも地域の皆様が子ども達のために、色んな協力を惜みずして下さるおかげ様で、本当に有難く思います。そしてこうした思いやりあふれる活動こそが掛川の真髄ではないかと思うのです。

色々考えてみると、大変なこともありますが、自然との共存や、人と人とのつながりの中で、掛川の魅力をつくづく感じます。他にも、掛川と言えば、何があるか思い巡らすのが楽しみです。



編集後記

暑さが少しやわらぎ、絶えず季節は移ろっていますね。朝晩の過ごしやすさや日暮れの早さは、都会にいた時よりも格段に肌で感じます。季節ごとの住まいのしつらえも、気密性の高い家にいたときより変化の楽しみが生まれました。

そんな掛川の良さを詰め込んだ絵本に、たくさんの反響があるのも納得ですね。

(西村)